

ミャンマー保険支援連絡会議
宮下副大臣冒頭ご挨拶

11月21日（木） 15：00～

マウン・マウン・ウィン ミャンマー計画財務副大臣、
ミャンマー計画財務省の皆様、
日本側の関係各社・団体の皆様、
金融担当副大臣の宮下一郎です。

マウン・マウン・ウィン副大臣のご来日を心より歓迎申し上げます。また、ミャンマーに進出し、同国保険セクターを支援する日系保険会社各社の皆様、関係諸機関の皆様が一堂に集い、保険分野の協力強化のために議論を重ねるとともに、これまで取組みを続けられてきたことに感謝申し上げます。

本日の会議は、日本が官民一体となって2018年6月に策定したミャンマー保険セクターに対する支援計画である「COMPASS」^{コンパス}に関して、マウン・マウン・ウィン副大臣に進捗をご報告するためのレポートをお渡しするとともに、各社・機関の皆様からも自身の取組みについて、直接のご報告の機会を設けるべく開催いたしました。会議の開催に当たり、私から、このCOMPASS進捗報告書につい

て、簡単にご紹介申し上げます。

COMPASS は、日本がミャンマー保険セクターの健全な発展に貢献するために、包括的な支援計画として策定されました。日本の保険会社、関係機関及び金融庁は、COMPASS を正に羅針盤として、ミャンマー政府当局や業界団体の皆様との協議を通じ、幅広い課題について支援を拡充してきました。目標達成に向けて着実に前進が見られる一方で、やるべきことはまだ残っています。

本日お渡しするこの報告書は、COMPASS が提示した主要な課題、具体的には、第一に、保険会社の財務健全性の確保、第二に、保険商品の適正化、第三に、法制度整備、第四に、当局・業界の能力構築等について、官民が連携して取り組んできた支援の実績をとりまとめ、これまでの歩みを確認できる内容となっています。

また、今日のミャンマー保険市場の状況を踏まえ、今後何をなすべきかというアクションにも着目して、今後のスケジュールを記しております。

こうした多様なアクターが関わる地道な取組みが続けられる中、本

日ご出席いただいている日系各社様を始めとする外資の保険会社が、本年、操業に向けた仮認可を取得されています。

ミャンマー当局におかれては、保険市場の外資開放に向けて、正式認可のための審査を進められているところと承知しておりますが、日系各社のこれまでの取組みを評価いただき、できるだけ早く手続きを進めていただければ幸いです。

そうした大きな節目を迎えるタイミングで、本日、COMPASS 進捗報告書を直接マウン・マウン・ウィン副大臣にお渡しできることを大変喜ばしく思います。

日本は、保険に加え、証券や銀行等の分野でも研修生の受け入れなど、総合的なミャンマー支援を展開しており、近く20名程度の研修生が来日される予定と聞いております。両国の関係の一層の発展と金融分野における協力推進を祈念して、私の冒頭のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。